

令和8年度「豊かな心」育成プログラム

学校番号：27516
学校名：星置東小学校

項目名	項目内容	項目内容の具体				
標目	「豊かな心」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を目指そうとする子 ●心豊かで思いやりのある子 				
昨年度までの「豊かな心」に関する成果や課題	A 思いやり、挨拶・廊下歩行の指導の充実	【具体的な取組】 ・書記局・生活委員会による啓発活動 「ほほえみとかがやきに満ちた学校」に沿ったポスター作成や放送での呼びかけ、「あいさつごろく」の実施を通して、全校の意識向上を図った。 ・かがやきタイムの運営 かがやき委員会を中心に、年3回の縦割り遊びを企画・実施し、異学年交流を通して上級生が下級生を思いやる場を設けた。	【成果】 ・書記局企画の「あいさつごろく」に全校児童が意欲的に取り組み、すごろくのコマを進めることをきっかけに、学年や学級を越えて挨拶を交わす姿が多く見られるようになった。 ・生活委員会作成のポスターを校内各所に掲示したことで、児童が日常的に「挨拶」や「廊下歩行」を意識できる環境が整った。イラストや図を用いた分かりやすい内容により、低学年にも伝わりやすく、全校的なマナー意識の向上につながった。	【課題】 ・活動スキルの積み上げ不足 かがやき委員会の児童が進行に慣れておらず、台本に頼る場面が多かったため、20分間の活動時間を十分に活用できないグループが見られた。 ・経験値と共有・周知の不足 教職員側も活動の意図や遊びの内容への理解が十分ではなく、学校全体への周知や日常的なフォローアップに課題があった。		
	B 保健・食・防災意識の指導の充実	【具体的な取組】 ・全学年で「心の指導」と「いのちの学習の時間（年2回）」を実施し、発達段階に応じて、自他の気持ちや命の大切さについて考える機会を設けた。 ・食への前向きな意識を育てるため、栄養教諭による食指導（年1時間）や教科での情報提供に加え、集会や掲示物での紹介、給食時間の巡回を行った。 ・危機管理意識を高めるため、防災訓練の事前・事後指導を丁寧に行うとともに、教職員による不審者対応訓練を実施した。	【成果】 ・心や命について考える機会を計画的に設けたことで、児童が自分や他者の気持ちに目を向け、日常の言動を振り返る姿が見られるようになった。 ・児童が健康や食を取り巻く環境への意識を高め、よりよい行動をしようとする姿が見られた。また、優良事例の共有により、自分も貢献しようとする意欲につながった。 ・避難時の移動方法や「いかのおすし」の言葉が定着し、児童の危機管理意識の向上が見られた。また、教職員不審者訓練を通して、教職員側も具体的な対応をイメージしやすくなった。	【課題】 ・担任によって指導の深まりや捉え方に差が見られるため、教材の意図共有や事前打ち合わせを充実させるとともに、児童の実態に応じた内容の見直しや継続的な評価方法の工夫が必要である。 ・年間1コマの実施では学習内容への意識を継続しにくいいため、給食時間や教科との関連を図りながら継続的に指導し、家庭とも連携して学びを実生活に定着させる必要がある。また、他者意識だけでなく、自らの健康にも目を向けられるよう指導方法の見直しが必要である。 ・不審者訓練や津波訓練では、施設方法や連絡体制など改善が必要な点が見られたほか、児童の安全意識にも一部課題が見られた。		
今年度の具体的な改善策(取組)	取組の最重点					
	A 思いやり、挨拶・廊下歩行の指導の充実	廊下歩行の指導	気持ちのよい挨拶の継続と指導	委員会との連携	かがやき委員会の子どもと教職員の実践研修の導入	自治的な活動の推進
	B 保健・食・防災意識の指導の充実	防災訓練 教職員不審者訓練	朝読書・図書館割当の継続 図書館ボランティア・委員会との連携		食育・心やいのちの指導	
方検証	<ul style="list-style-type: none"> ●年度末評価、学校行事の児童や保護者、教職員のアンケート等の活用 ●学校運営協議会・学校関係者評価等の活用 					